

115期2学年通信

令和元年10月16日発行 担当：岩田勝美

アウト・ドアからイン・ドア 自己を見つめる季節へ

進路を意識した学習にシフト

見学旅行が終わって1週間が経とうとしています。もう夢から醒めているでしょうか。さて、木々の葉が色づき、日の落ちる時間が随分早くなりました。秋の深まりが感じられる時季です。

また高体連ならば新人戦、高文連ならば全道大会がひと段落、シーズン・オフの感じがします。私たちの意識も「アウト・ドア」から「イン・ドア」へ。自己を見つめるには良い季節となりました。

再来週末には進研模試が行われ、この模試から理科と地歴・公民が受験科目に加わります。自分の進路を意識して学習に取り組む時期にきています。

3年生になったら始める遅いです。部活動を引退してから気合いを入れ直す、本番に間に合いません。潮陵祭が終わってから、アウトです。高校生活の折り返し地点を過ぎて、進路を意識

●今後の主な予定●

10/23(水)	大学入試共通テスト説明会
10/30(水)	生徒集会
11/2(土)	進研模試
11/20(水)	3年次科目選択ガイダンス

識した学習を始めるのは「いま」。まずは模試に照準を合わせましょう。

見学旅行・あとがき

今後、自主研修の報告や、心に残った見学地の紹介を、情報や英語の授業で行います。ここでは印象が弱かったであろう(?)奈良について筆者の思いを記しておきます。

生徒の肖像権保護のため
写真を削除して掲載しています

奈良公園・「自撮り棒」
ならぬ「鹿撮り棒」

生徒の肖像権保護のため
写真を削除して掲載しています



東大寺南大門・金剛力士像の
ポーズをまねる

奈良 千年、五百年単位の木造建築 平城の京を「冷凍保存」

最終日に訪れた奈良。自主研修を行った京都や大阪より地味かつ旅の疲れから、あまり印象に残っ

ていない人が多いかな？個人的には小学校の修学旅行をきっかけに奈良の寺院建築と仏像に興味

を持ち、中学・高校の頃には夏休みや冬休みを使って幾度か訪ねていました。今回は拝観できせんでし

たが東大寺の「三月堂」、他に「法隆寺」と「唐招提寺」が気に入っています。国民作家と呼ばれた司

馬遼太郎は「街道をゆく・奈良散歩」で「千年、五百年単位の古さの木造建築が、奈良ほど密集して保存されているところはない」と描写。古の京が「冷凍保存」されているところが奈良の魅力です。将来、関西を再訪する機会があれば、これら奈良の寺院も立ち寄ってほしいですね。また日本史を選択している人は、教科書で飛鳥・白鳳・天平文化のページをぜひ読んでください。